

イベント開催の報告

JNSA 西日本支部主催セキュリティセミナー

NSF2006 in Osaka『日本版SOX法に求められる情報セキュリティの役割』

JNSA西日本支部 メンバー
富士通関西中部ネットテック株式会社 岡本 登

日本ネットワークセキュリティ協会 西日本支部主催の第10回セキュリティセミナー NSF2006 in Osaka『日本版SOX法に求められる情報セキュリティの役割』が、経済産業省、近畿経済産業局、大阪商工会議所、財団法人関西消費者協会、社団法人関西経済連合会、財団法人ひょうご情報教育機構、財団法人関西情報・産業活性化センター、NPO 滋賀県情報基盤協議会、NPO なら情報セキュリティ総合研究所、NPO 情報セキュリティ研究所、NPO GIS 総合研究所の後援のもと、10月26日（木）に大阪市にある大阪国際会議場において開催されました。当日は、非会員の方34名を含め、63名の方にご来場頂きました。

今回は、内部統制必須の時代を迎える中、情報セキュリティが自己防衛の目的だけではなく社会責任を全うする上でも重要な経営要素の一つになろうとしていることから、『日本版SOX法に求められる情報セキュリティの役割』をメインテーマとして取り上げ、講演では、政府の立場から、また学術的な観点から、さらには企業での実践事例に関してご講演を頂いたほか、JNSA 西日本支部の活動である中小企業における個人情報保護対策WGからの成果報告もありました。本セミナーを通して、内部統制を効率よく、かつ実効力を持つものにするには、どのような観点で、どのようなセキュリティ対策を考えなければならないのか、またその課題と解決策とはどのようなものなのか、多少なりとも皆様のご参考にして頂けたものと確信しております。以下、当日のアンケート結果なども交えて簡単に内容をご紹介します。

まずプログラムの最初に井上JNSA西日本支部長から、今回のセミナーに寄せる期待とご挨拶をさせていただき、引き続き、基調講演として、「情報セキュリティを巡る状況と政府の対応について」と題して経済産業省 情報セキュリティ政策室 課長補佐 下田 裕和様からご講演を頂きました。



基調講演（経済産業省 下田裕和氏）

時代の変化や事故の事例などの背景とともに、政府全体の取組みについて詳しくご説明を頂き、さらに情報セキュリティに対する経済産業省の具体的な取組みについてご紹介を頂きました。ご参加頂いた方々のアンケート回答を見ますと、政府や経済産業省の取組みについて豊富な内容で、大変勉強になったとのこと意見を多数頂きました。安心・安全な情報経済社会の実現に向けた具体的な方向が示された貴重なご講演であったと思います。

2番目の講演は、「内部統制と情報セキュリティ ～グローバルエクセレンス企業を目指し～」と題し、松下電器産業株式会社 情報セキュリティ本部 部長の金森 喜久男様からご講演を頂きました。

本ご講演では、実際に社内で実践された大変貴重な事例をご紹介頂き、これからの取組みにおいて、非常に参考になる内容であったかと思えます。特に取組みに対する理念が明確であり、そこから発せら

れるメッセージには強い印象が残りました。「全社一丸となって取り組んでいる」などのアンケート回答からも参加された方々の受けられた印象が感じ取れます。

3番目の講演は、「日本版SOX法対応に向けた中堅・中小企業における内部統制とIT活用」と題し、NECネクサソリューションズ株式会社 コンサルティング部 部長の持田 敏之様からご講演を頂きました。

本ご講演では、コンサルタントのお立場から、内部統制をどのように構築していくかについてわかりやすく整理されたご説明を頂きました。どのように進めればいいのかという悩みをお持ちの参加者の方々には、ガイドラインとして活用できると感じて頂けたのではないのでしょうか。アンケート回答でも「とても分かり易い説明でポイントが理解できた」とのご意見を頂いております。

続いて、「西日本支部中小企業向け個人情報保護対策WG活動報告」と題し、JNSA西日本支部のWGメンバーからこれまでの活動の状況を報告させて頂き、その成果物であるチェックシートを講演会場で実際に参加者の方々にチェックして頂くという初の試みをさせて頂きました。皆様のご協力により、貴重なデータが得られましたことを本紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。また、アンケートでは、当日の方法等に付きましていくつかのご指摘も頂いておりますので、今後のご参考にさせて頂きます。なお、チェッ



中小企業向け個人情報保護対策WGの発表

クシートの集計結果につきましては、JNSAのWEBページ(<http://www.jnsa.org/result/index.html>)にて公開させて頂きましたので、是非ご覧下さい。

最後に、カーネギーメロン大学日本校 教授 武田圭史先生より「JSOX対応と情報セキュリティの見える化」と題しまして、ご講演を頂きました。

JSOX法、内部統制のポイントを踏まえた上で、情報セキュリティの見える化、脅威の見える化についてご説明を頂き、新たな側面から捉えた情報セキュリティの考え方を気付かせて頂いた良い機会になったと思います。アンケートでも「単なるアカデミックな分析以上に具体的であった」などのご意見も頂き、今後の武田先生の研究に注目して行きたいと思えます。

おわりに

何からどのように取り組めばよいのかが悩ましいJ-SOX対応ですが、国内の動き、具体的な事例や方法論、また新しい視点での捉え方など、今後の対応に参考となる内容が盛りだくさんのセミナーだったのではないかと思います。J-SOXが適用される平成20年4月1日まで、もうあまり時間がありません。これまでは情報セキュリティが経営課題として取り上げ難い現状にありましたが、今後は中小企業をはじめとするあらゆる企業において、J-SOX対応に取り組む上で健全な情報セキュリティ対策こそが必須不可欠であるという認識を新たにしたセミナーになったと感じました。